

患者の皆様へ

2025 年 4 月 1 日

浜松医科大学医学部附属病院 医療情報部

現在当院では、医薬品の安全性情報管理のための大規模データベースにおける症例抽出手法に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では以下の情報を利用いたします。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名：MID-NET®における脳出血入院症例の適切な抽出手法に関する研究

2. 研究の意義・目的

本研究では、脳出血入院症例を分類する統計モデルや機械学習モデルを構築し、多機関共同データベース MID-NET®から脳出血入院症例を正確に抽出する条件を開発することを目的としています。本研究により、MID-NET®や同様の多機関共同データベースにおける脳出血入院症例のデータ解析の一助になる可能性があり、MID-NET®の利活用、および大規模データベースを用いた研究開発が活発になることが期待されます。

3. 本研究の研究対象となる方

2015 年 4 月から 2017 年 3 月までに当院に入院した患者さまで、以下に該当する方。

- 脳出血およびその他関連の病気と診断された方
- 入院前日から退院日までに CT、MRI、MRA いずれかを撮影した方

ただし、外傷性および出血性梗塞、くも膜下出血のいずれかと診断された方、および生後 1 か月未満の患者さまを除きます。

4. 研究の方法

カルテレビューの結果を正解とし、統計モデルや機械学習モデルを構築します。解析に用いるデータは、年齢、性別、診療科、入院日、退院日、主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名、医療資源を 2 番目に投入した傷病名、入院時併存症名、入院後発症疾患名、抗浮腫薬、降圧薬、抗血栓薬の処方有無、リハビリの有無、入院期間中の CT、MRI、MRA 撮像の有無、その他レセプト、DPC に含まれる入院期間中の診療行為の有無およびその結果、等です。

5. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。解析に用いるデータは、千葉大学医学部附属病院 企画情報部内の、インターネットに接続できないコンピュータ内で保管します。

6. 外部への試料・情報の提供

本研究では、上記対象のデータを研究代表機関である千葉大学医学部附属病院へ提供いた

します。

7. 研究組織・責任者

千葉大学医学部附属病院 企画情報部 部長 鈴木隆弘(研究代表者)

香川大学医学部附属病院 医療情報部 部長(教授) 横井英人

浜松医科大学医学部附属病院 医療情報部 部長(教授) 五島聡

医薬品医療機器総合機構 執行役員（研究部門担当）宇山佳明

8. ご自身等の診療情報などを本研究に利用してほしくない場合

ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、この研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、下記お問い合わせ先にお申し出ください。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

9. 本件のお問合せ先

浜松医科大学医学部附属病院 医療情報部 教授 五島聡

連絡先：053-435-2111（代表）

研究代表者の連絡先

千葉大学医学部附属病院 企画情報部 部長 鈴木隆弘

連絡先：043-222-7171(代表)

本研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。